



医療安全通信 第87号

Vol. 16-1

金沢医科大学米見市民病院
医療安全小委員会
令和5年6月30日 発行

令和5年度 医療安全対策部、新セーフティマネージャー（SMG）の紹介

医療安全対策部が新体制となりました

医療安全対策部長 伊藤 透



令和5年4月1日より、病院長を拝命した伊藤透でございます。同時に当院の医療安全対策部長に就任いたしました。全部署に対して、医療安全対策ばかりでなく一般業務においても心理的安全性が担保された、透明感のあるガバナンスを提供させていただこうと考えております。患者さんに安心、安全な医療を提供させていただく基本中の基本は医療安全を遵守していくこととあります。患者さんに対する接遇はもとより、高度な医療を提供する際に重要なことは、正確な判断、治療技術、適切なインフォームドコンセントなどを行い、満足度の高い医療の提供を心がけて業務を遂行することであると思います。そして、どんな些細なことであっても通常と異なる流れとなった時、医療行為を中止し、周囲の医療関係者と相談し、患者さんを安全な環境を担保しなければなりません。そして、遅滞なく報告していただくこととあります。上司と部下間、医師とメディカルスタッフ間、メディカルスタッフ間等においても報告、連絡、相談しやすい環境を病院一丸となって作ってまいります。

医療安全管理室

医療安全管理室長 森山 学



私の抱負は、医療安全の向上と信頼の確立です。職員と協力し、情報共有や教育強化、リスク評価の徹底などを推進します。積極的なコミュニケーションを通じて安全文化を醸成し、皆様のご意見を取り入れながら進化させます。信頼と安心の環境を作り、質の高い医療サービスを提供するため全力を尽くします。皆様と共に歩み、医療安全を築いていくことをお約束いたします。

医療安全管理室課長 東野 順子



令和5年4月より医療安全管理室に配属となりました東野です。私たちは患者さんに安全な医療サービスを提供するため、病院内の安全管理を担っています。職員の安全に対する意識や業務を遂行するための、医療に関わる安全管理の研究・企画・運営を行ってきたいと思っております。

令和5年度新セーフティマネージャー（SMG）

今年度から、新たな7名の新セーフティマネージャーを加え医療安全推進活動を進めてまいります。

松木 伸夫（健康管理センター）

原口 貴敏（腎臓内科）

平野 貢三子（看護部4階東病棟）

小田 裕子（看護部4階西病棟）

三浦 恵里子（看護部5階東病棟）

高橋 智子（看護部手術室）

瀬戸 恵美（人事課）



回覧													

令和4年度医療安全活動報告会 **セーフティマネージャー会**

医療安全活動報告会は、各部署でセーフティマネージャーを中心に積極的な医療安全活動を推進しており、その活動内容をセーフティマネージャー会へ報告し、情報共有と更なる改善につなげています。昨年度までは新型コロナの影響で掲示板への掲示のみでしたが、今年度からセーフティマネージャー会での報告を再開しますので、皆様のご協力をお願いします。

令和4年度の各部署の演題は以下の表のとおりです。

令和4年度医療安全活動報告一覧

掲示期間	発表部署	演題
令和4年6月	内視鏡センター	高周波手術装置に関する報告
令和4年7月	中央臨床検査部	COVID-19 検査の検体再採取防止に対する取り組み (第22回富山県公的病院医療安全研究大会発表演題)
令和4年8月	5階東病棟	転倒・転落事例の再発を防止する取り組み
	栄養部	COVID-19 に感染した患者さんへの食事提供について
令和4年9月	リハビリテーション部	失語症患者さんとのコミュニケーションのポイント
	総務課	入院患者の無断離院への対応見直しについて
令和4年10月	4階西病棟	褥瘡発生予防への取り組み
	二チイ学館	会計待ち時間の減少に努める
令和4年11月 (医療安全推進週間)	5階西病棟	5階西病棟の医療安全の取り組み
	外来	中央処置室 安全対策の取り組み
	ME 部	安全で安心な医療を目指して
	中央放射線部	当院におけるマンモグラフィ撮影線量と DRLs2020 との比較
	医事課	医療安全と医療接遇
	地域医療連携部	地域医療連携室の活動
令和4年12月	4階東病棟	誤認防止対策
	手術部	令和4年医療安全活動報告
令和5年1月	3階東病棟	転倒再発を予防するための取り組み
	ダスキン	病院清掃時の注意点
令和5年2月	血液浄化センター	新型コロナウイルス感染症に対する血液浄化センターの取り組み
	薬剤部	薬剤部医療安全の取り組み

医療安全管理室から

新たな体制のもと、私たちは医療安全における職員の負担軽減に重点を置いて取り組んでいます。

職員は医療現場で大変な責任を担っており、その負荷を軽減することは非常に重要です。

具体的な取り組みとして、効果的なスタッフ配置や業務負担の見直し、効率的な情報共有システムの導入などを検討しています。また、ストレスマネジメントや心理的サポートの充実も目指し、職員のメンタルヘルスを支える取り組みも進めます。医療安全室では職員の声に耳を傾け、セーフティマネージャーの方々と共に適切なサポートを提供することで、安全な医療環境を実現します。一人ひとりの貢献が大切であり、チーム全体で連携し、お互いに支え合いながら前進していきましょう。

皆様のご協力と理解をいただきながら、より良い職場環境を実現するために努力を重ねてまいります。引き続き、信頼と安心の医療サービスを提供するため、共に歩んでまいりましょう。

医療安全管理室 森山 学